

補足の接続詞「もっとも、ただし」の意味分析

伊豆原英子

1. はじめに

本稿は、類義関係にある「もっとも、ただし」という二つの接続詞を考察対象とし、両者の意味および機能の相違を明らかにすることを目的としている。

「もっとも、ただし」という二つの接続詞は、「ただ、なお、ちなみに」などととも「補足あるいは補充」の接続詞として下位分類される。その意味・機能は、「補足的だが、理解に役立つ情報が続く。」(石黒 (2008)) ことを示すものである。

二つの接続詞について書かれた日本語関係の参考書では、たとえば「もっとも」について、「前の文で述べたことがらに対し、条件や制限をつけたり、例外を認めたりする点では「ただし」とまったく同じ働きである。」(森田 (1980))、あるいは「「ただし」に近い。」(石黒 (2008)) のような記述がみられる。また、辞書でも「そうはいうものの、但し」(『広辞苑』)、
「もっとも [=ただし] 例外がないわけではない。」(『新明解国語辞典』第5版) のような記述がみられるところから、両者が広く類義語としてとらえられていることがわかる。

日本語の学習者にとって、類義関係にある接続詞の習得は難しいが、「もっとも」と「ただし」についても例外ではない。その難しさは意味・機能の説明がきちんとなされていないことにも一因があると思われる。そこで本稿では、「もっとも」と「ただし」について、日本語学習者に役立つ記述を試みる。

本稿では、まず2節で先行研究を検討する。続く3節では、「もっとも」と「ただし」の比較分析を通して、意味・機能の相違点を考察する。4節ではまとめを行う。

2. 先行研究の検討

2.1 先行研究での記述

ここでは、日本語関係の本や参考書で、両者の意味・機能がどのように記述されているかをみる。まず「もともと」であるが、次のような記述が見られる。「前の文で述べた事柄に対し、条件や制限をつけたり、例外を認めたりする。」(森田 (1980))、「前文に述べた事柄について、条件や制限をつけたり、例外を示したりして、部分的に修正する。」(名柄他 (1978))。また、『日本語文型辞典』は、「先の文の内容について、部分的に訂正するのに用いる。」とし、「もともと……が／けど」について、「前の文の内容を部分的に訂正したり、その内容から聞き手が予想しそうなことを否定したりするのに用いる。「……けど」は話し言葉。」としている。

さらに、「もともと」の記述には、「持参のこと」「持参するように」といった命令のような強い働きかけの表現とは共起しない。読み手に誤解を与えるおそれのある先行文脈に留保をつけて控え目な内容にし、読み手の理解が偏ったものにならないようにする。」(石黒 (2008))とあり、命令のような強い働きかけの表現とは共起しないこと、先行文脈に留保をつけて控え目な内容にするものであることが述べられている。

次に、「ただし」については、以下のような記述がある。「前で述べたことに対して、それをいちおう認めながらも、多少の条件や制限を付けたり、例外を加えたりするときに用いる。」(森田 (1980))。「前に述べたことに、補足的な説明、条件、例外などを客観的に付け加える。硬い言い方。」(名柄他 (1978))。「前で述べたことについて、それに関する細かい注意事項や例外を示すときに使う。」(『日本語文型辞典』)。しかしながらこれら参考書には、「補足的な説明」あるいは「細かい注意事項」とされるものがどのような性質のものかは示されていない。

2.2 先行研究の問題点

さて、先行研究によると、「もともと」と「ただし」は、前に述べた事柄に対して条件や制限をつけたり例外を認めたりするときに用いるとされる点で共通している。確かに、上にあげた参考書等にある例文の中には、以下の(1)~(5)で示すように、「もともと」と「ただし」が、条件や制限をつけたり例外を認めたりするときに用いられているものがある。

- (1) 店員募集。ただし高卒以上の男性。(条件、制限)
- (2) 明日は初すべりだ。もともと雪があればの話だが。(条件)
- (3) テニスコートの使用料は1時間千円。ただし、午前中は半額になります。(例外)
- (4) 毎日5時まで会社で働いている。もともと土・日は休みだが。(例外)

(5) () に助詞を入れなさい。ただし「は」は入れないこと。(条件、制限)

しかし、実例(後述)を見ていくと、収集した限りでは「もっとも」には条件や制限をつけたり例外を認めたりする用法は見当たらず、「ただし」においても、上で見たような条件や例外と認められる文が続く場合もある(50例中20例)が、そうではない場合がそれに劣らず多く見受けられる。たとえば、次のようなものである。

(6) 月面の奇跡... アメリカ国旗は健在、ただし全部真っ白です。

www.gizmodo.jp/2012/08/4apollo_flag3.html -

ここで、「ただし」の後の文、「(国旗が) 全部真っ白」であることは、「アメリカ国旗が健在」であったことの例外でも制限でも条件でもない。また、次の例、

(7) 大学生の mixi 利用者 6 割強、ただし大部分は利用頻度減少。その理由は……

www.garbagenews.net ▶

では、利用者の大部分の利用頻度が減少したことは、「mixi の利用者が 6 割強」いたことの例外でも制限でも条件でもない。

このことは、「もっとも」と「ただし」は、条件や制限をつけたり例外を認めたりするとき用いるとされる記述を、少なくとも、それを第1義とする記述を見直す必要を示唆しているのではないだろうか。また、条件を述べたり、例外を付け加えたりすることは両者の共通点というより相違点の一つと考えたほうが適切なのではないだろうか。

次に、先行研究の中には、「もっとも」について、「前に述べたことがらを部分的に訂正するもの」と説明しているものがあるが、これは例(1)~(5)を見ればわかるように「もっとも」に限らず、「ただし」にも該当するものである。前に述べたことがら(以下、前件と呼ぶ)に対して、「もっとも」あるいは「ただし」のあとに例外や条件などを付け加える(以下、後件と呼ぶ)ことは、前件に対して修正もしくは訂正することでもあるからだ。

同じことは、「もっとも」は「前に述べたことがらから聞き手が予想しそうなことを否定するもの」という説明についても言える。

(8) 明日の社会見学には全員参加してください。もっとも病気などの場合は別ですが。

(9) 診察時間は夜7時まで。ただし、急患はこの限りではない。

「全員参加」ということばを聞いた人が、「病気になったらどうなのか」と考えたり、「診察時間は夜7時まで」ということばに、「急患でも診てもらえないのか」と予想したりする可能性を後件で否定する点では「もっとも」も「ただし」も変わりはない。

コミュニケーションにおいては、何よりも伝えたい情報がまず述べられ、そのあとでそれに関連する情報が加えられることはよくあることだ。「もっとも」や「ただし」が使われる場合というのは、まさしくそのような場合である。

こう考えてくると、両者の違いを知るためには、「もっとも」も「ただし」も、そのあとに「補足的だが理解に役立つ情報が続く」という視点から、前件・後件の情報の性格や関係性を新たな目で分析することが必要なのではないだろうか。

ところで、先行研究には先に述べたように、「もっとも」と「ただし」について、「ただし」は、「……例外などを客観的に付け加える。硬い言い方。」という記述があり、また「もっとも」は「命令のような強い働きかけの表現とは共起しないこと、先行文脈に留保をつけて控え目な内容にするものであること」という文体差の観点から記述したものがあつた。この点についても、前件・後件の情報の性格という視点から説明できるのではないかと考えられる。「もっとも」と「ただし」を分析する中で考察していきたい。

3. 「もっとも」と「ただし」の分析と考察

「もっとも」も「ただし」も、前件と後件をつなぎ、後件で前件に関連する情報が続くことを予告する働きを持つ。

以下では、「もっとも」と「ただし」の分析と考察を行うが、ここで分析の対象とするデータは、インターネットを利用して収集した各50例である。なお、データ収集日は2013年2月28日および3月1日である。

3.1 前件・後件は事実文か意見文か

「もっとも」と「ただし」の用いられた実例を見ていて、まず気づくことは「ただし」の場合、公的な（客観的な）事実文が多いことである。そこで、ここでは、「もっとも」と「ただし」に前接、後接する文、つまり前件・後件が事実文か意見文かを見ていく。ここで事実文とは、実証できる文を言い、意見文とは書き手（話し手）の判断・主張などを述べる文を言う。

分析の結果、次のことがわかつた。「もっとも」では、前件・後件とも、書き手の意見が述べられている文が50例中31例（62%）、前件あるいは後件で意見が述べられている文が7例（14%）、前件・後件ともに事実が述べられている文（個人的な事実も含めて）が12例（24%）だつた。それに対して、「ただし」の場合は、50例中、前件・後件ともに公的な事実文である例が49例（98%）に上つた。残りの1例は意見文である。「ただし」の場合は前件・後件とも事実文が圧倒的に多かつたこと、それに比して、「もっとも」では意見文が過半数を占めたことは両者の違いの一つであると言つてよい。

3.1.1 「もっとも」の場合

それではまず、「もっとも」をとりあげ、前件・後件とも書き手の意見が述べられている例

を見る。

(10) 言語で表現しきれない思想のもっと混沌とした奥深いものを形にする仕事が、映画だとすると、映画の各部分は映画そのものの重要な一部でなければならないんです。ワンショットといえども、その世界全体を表現するべきものであるべきです。もっとも、そんな映画が作れたらいいなと僕も願っているんですが

meigensen.com/archives/13641 -

(11) 私の身の回りを見渡してみても、仕事で大成している友人や先輩は何処へ行っても女性にモテますし、それなりに遊んでますから……。自分で責任の取れる範囲内であれば、男たるものスキャンダルの1つや2つ勲章ですから……。もっともそんな乱暴な考え方はあくまでも私自身の自分勝手な私見であります……。(笑笑)

www.matsui-clinic.net ▶

(12) 以前はわき水が足下を流れて、いつも湿ったような道でしたが、近年、手すりなどとともに改修され、すこし風情が減りました。もっとも、そんなことは余所者の感傷にすぎず、地元の人たちにとっては、きれいで歩きやすくなるほうがいいのかもしれない。

www.osk.3web.ne.jp/~hirodas/achikochi/sakal.html -

例(10)(11)では、前件に「表現するべきものであるべきです」「男たるものスキャンダルの1つや2つ勲章ですから……」のように、書き手の個人的な意見が述べられている。また、後件でも「僕も願っているんですが」「私自身の自分勝手な私見であります……」のように、書き手の意見が述べられている。例(12)でも同じである。

それでは、前件で事実、後件で意見が述べられている例、およびその逆の例を見てみよう。

(13) 先月28日から始まった連休も、私にとっては休みどころか普段以上に忙しい日々となった。とにかく殆ど毎日出掛けるか、人が来るかで、わずかに空いた日は片付けやら次の日の準備、手紙書き等で終わってしまったから、休んだという感じはまるでなかった。もっとも、現在の私にとって、ゆっくりする時など出先で何か急に予定がなくなった時ぐらいしかないかも知れない。

www.shouseikan.com/koyu0105.htm -

(14) ホテルは場所を確認します。たとえば「東京のホテル」といっても、銀座のこともあれば23区外のこともあります。値段が違ってくるのは当たり前のこと。もしも滞在都市をあちこち見て回りたいのなら、この違いは見過ごせません。もっとも、いくら市街地から遠くても気にならないツアーもあります。専用バスを利用した周遊ツアーです。(後略) timesell.jp ▶ Timesell 特集一覧

例(13)では個人的状況が述べられ、例(14)では、公的な情報のうちに個人の意見がはさまれてい

る。前件で事実が、後件で意見が述べられている例、およびその逆の例7件のうち、公的な状況を述べているものは1例に過ぎなかった。

次に、前件・後件とも事実文である例を見てみよう。

(15) その晩はビールを飲んで心を落ちつかせ、振り返ってばかりいないで未来を見つめようと自分に言い聞かせた。それで恐る恐る自分の身体の鍛え直しを始めることになった。もっともいくら未来を見つめているからと言って、30歳も過ぎてからの話なので心臓に負担をかけないように、ほとんど病後のリハビリテーションまがいの船出だった。neospeedpark.com/column/mkn.html -

(16) 27日の海外市場は、ドル円、クロス円とも基本はレンジ内の動き。ニューヨーク前半にかけ下落したが、後半に買い戻される展開。もっとも、そこから上値を追う動きとはならず。fx.nsjournal.jp >

例(15)(16)は、ともに前件・後件とも事実文であるが、例(15)は個人的な状況が書かれた文であるのに対し、例(16)は個人的ではない、公的な（客観的な）状況が述べられている。前件・後件とも事実文である例は50件中12件あったが、その中で個人的な状況を述べたものが7件、公的な状況を述べたものが5件であった。「もっとも」が意見文の中で用いられている例が多いことと重ね合わせると、「もっとも」は私的な文章で使われることが多いと言える。これは、後で述べる「ただし」では、50例中49例が公的な状況を述べる文の中で用いられていたことと大きく異なる点である。

3.1.2 「ただし」の場合

では、次に「ただし」が使われている例を見てみよう。

(17) 月面の奇跡 ... アメリカ国旗は健在、ただし全部真っ白です。(例6に同じ)

(18) 「デフレ脱却を目指して！」と賃上げ宣言のローソン、ただし正社員（3300人）に限る。18万5000人の非正規は対象外 -2chLeak-

(19) 【送料無料！ただし、メール便・（ポイントご利用含む）銀行振込・郵便振替またはカードでのお支払限定です】em.rakuten.co.jp/wais-tool/20321/-

(20) ビタミンCは確かに風邪予防に効果的であることが、実験により証明された。ただし、併せてエクササイズをしなければ、意味がないという。irorio.jp >

例(17)～(20)に見るように、「ただし」でつながれている文は、前件・後件ともに公的な（客観的な）状況を示す事実文である。ここに上で見た「もっとも」との大きな違いがある。先行研究に、「ただし」について、「硬い言い方」という記述があるが、これは、これまで見てきたように（また、3.2、3.3で見ると）、「ただし」が客観的な事実文で使われていることを考えれば、当然のことであろう。

50例中の1例、つまり、「ただし」が意見文の中で用いられていた例を次に示す。

(21) 人と仲良くなりたければ褒めろ。ただしお世辞ではなく本心からな。物凄い効果があるぞ。lifhack2ch.livedoor.biz>

例(21)の前件は命令文である。「ただし」と命令文の共起については、3.3で扱う。

3.2 前件と後件の関係性(1)

先に、「もっとも」や「ただし」には「例外・制限・条件を加えるもの」という説明がみられること、しかしながら、「もっとも」が使われている実例には、後件が「例外もしくは制限もしくは条件」であるものはなく、「ただし」では半数にも満たなかった(50例中20例)ことを述べた。

そこで、ここでは「ただし」の用いられた50例の中で、後件が条件や制限、例外といったことばで説明できる例をあげ、「例外・制限・条件」と受け取れるのはどのような条件によるかを見ていく。また、「もっとも」については、2節であげた日本語教育参考書の例を用いて、後件に例外や条件の情報が加えられると見なされるのはどのような条件によるかを見てみる。

3.2.1 「ただし」の場合

(22) 牛丼復活！ただし1日だけ

IT 戦士のエネルギー源「牛丼」——その代表格“よしぎゅう”が、1日限定ながら復活する。吉野家ディー・アンド・シーが2月11日に1日限定で販売。

www.itmedia.co.jp/lifestyle/articles/0502/01/news054.html -

(23) 【送料無料！ただし、メール便・(ポイントご利用含む) 銀行振込・郵便振替またはカードでのお支払限定です】(例19に同じ)

(24) EU、ようやく特許制度を統合する制度を導入。ただしイタリアとスペインは抜き(本文略) yro.slashdot.jp/.../...

(25) 『PlayTV』の録画映像は自由に複製可能！ただし法の範囲内で(本文略)

gs.inside-games.jp/news/151/15145.html -

(26) イタリアは素晴らしい、ただし仕事さえしなければ www.amazon.co.jp

これらの例の後件には、例(22)では「だけ」、(23)では「限定です」、(24)には「抜き」、(25)には「範囲内で」、(26)には「しなければ」という言葉が使われており、後件が制限や条件、例外情報であることを示している。つまり、後件が制限や条件、例外を表す場合とは、後件で付け加えられる情報に、制限や条件、例外を明示する語が用いられている場合だと考えるのが適切であろう。

3.2.2 「もっとも」の場合

では、「もっとも」の場合を確認しよう。

(27) 明日は初すべりだ。もっとも雪があればの話だが。(例2に同じ)

(28) 毎日5時まで会社で働いている。もっとも土・日は休みだが。(例4に同じ)

(27)は条件、(28)は例外と考えられる例である。(27)には仮定を表す「あれば」が用いられ、後件が条件であることを示している。(28)は前件中の「毎日」と後件中の「土・日」との対比から、「土・日」は「5時まで会社で働く」ことの例外であることが示されている。つまり、ここでも語の意味が、後件が例外や条件であることを示している。

この2つの例で「もっとも」の用いられ方が「ただし」と違う点は、「もっとも」が、個人的な状況で用いられていることである。

3.2.3 後件は前件の成立を制限するか

ところで、川越(2007)は、「ただし」「ただ」「もっとも」について、制限用法をもつとしたうえで、「ただし」は、先行部(「前件」と同じ(筆者注))で述べたことの成立を制限するもので(つまり、後続部(「後件」と同じ))が満たされなければ先行部が成立しないということ)、後続部が重要であることを表すとしている。石黒(2008)も「ただし」は「先行文脈の成立を保証するために必要な条件を、後続文脈で補うことを予告する」ものとしている。

確かに、「ただし」の制限用法である。

(29) 牛井復活! ただし1日だけ(例22に同じ)

では、「牛井復活」といっても、これからずっとではなく、「1日だけ」であることを付け加えなければ、「牛井復活」という情報は消費者に対する欺瞞になってしまう。また、

(30) EU、ようやく特許制度を統合する制度を導入。ただしイタリアとスペインは抜き。(例24に同じ)

この例でも、EU全部なのかと言えばそうではなく、例外があることを後件で伝えなければ、前件情報は真実を伝えているとは言えない。

(31) イタリアは素晴らしい、ただし仕事さえしなければ(例26に同じ)

でも、「仕事さえしなければ」という条件付きで、「イタリアが素晴らしい」ことが成立するわけである。

川添や石黒は、このような性質を「ただし」だけに認めているが、「もっとも」の場合にも成り立つ。たとえば、例(27)では、「雪がなければ初すべりはできない」わけだから、後件があつて初めて前件が成り立つし、例(28)でも、後件を加えなければ、「毎日」という語が嘘になる。

しかし「もっとも」や「ただし」がいつも「先行部の成立に条件をつけて強く制限するか」

と言えばそうではない。それは、次のような例を見れば明らかだろう。「もっとも」について見ると、

(32) 言語で表現しきれない思想のもっと混沌とした奥深いものを形にする仕事は、映画だとすると、映画の各部分は映画そのものの重要な一部でなければならないんです。ワンショットといえども、その世界全体を表現するべきものであるべきです。もっとも、そんな映画が作れたらいいなと僕も願っているんですが（例10に同じ）

(33) 日曜大工で、コンクリートブロックの塀を作ろうと思っています。もっとも、そんな大した塀ではないのですが……(・。・;)

[detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question.../q1010058555 -](http://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question.../q1010058555)

例(32)での前件「世界全体を表現するべきものであるべき」という意見は、後件がなくても成立するし、例(33)の「塀を作ろうと思っています」いることも、後件がなくても成立する。

続いて「ただし」の例を見てみよう。

(34) 月面の奇跡... アメリカ国旗は健在、ただし全部真っ白です。（例6、17に同じ）

アメリカ国旗が健在であったことは、(国旗の)色があせていたこととは関係のない真実であり、後件がなくても成立する。

(35) 20日、研究者たちが墳丘の裾部に入って調査を行う。卑弥呼の後継者とされる壺与(台与)の墓ともいわれる西殿塚古墳(同天理市)でも、同日に調査が行われる。ただし、ともに発掘などは許可されていない。

www.j-cast.com/2013/02/14165339.html -13.2.14

では、発掘が許可されなくとも調査は行われる。つまり、前件の成立に後件は関係がない。

このように見てくると、「後続部が満たされなければ先行部が成立しない」あるいは「先行文脈の成立を保証するために必要な条件を、後続文脈で補うことを予告する」ことは「ただし」や「もっとも」が例外や制限、条件を表わすときに共通した性質であると言える。

そうであるならば、「もっとも」「ただし」が用いられている文で、後件は前件に対して「例外・制限・条件」以外にどのような意味関係をもつ文が付け足されると言えるのだろうか。それについては、次節で検討する。

3.3 前件と後件の関係性(2)

3.3.1 「もっとも」の場合

例を見てみよう。

(36) 私の身の回りを見渡してみても、仕事で大成している友人や先輩は何処へ行っても女性にモテますし、それなりに遊んでますから……。自分で責任の取れる範囲内であれば、男たるも

のスキャンダルの1つや2つ勲章ですから……。もっともそんな乱暴な考え方はあくまでも私自身の自分勝手な私見であります……。(笑笑)(例11に同じ)

(37) そんな変化の行き先を見据えることが出来る、大きな人間に今年こそなりたいものだ、正月ボケの抜けきらない頭で思った。もっとも、そんな大きな人間になる以前の問題として、近未来に必ず来ることがわかっている締め切りを、もう少し前から見据えられる人間に、まずなりたい、と切実に思う。(2013年1月25日 読売新聞) www.yomiuri.co.jp ▶

(38) この世に純愛というものは存在するのでしょうか？ もっともどういものが純愛なのかわかりづらいんですが。(後略)

detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question.../q1054000695 -

(39) 言語で表現しきれない思想のもっと混沌とした奥深いものを形にする仕事、映画だとすると、映画の各部分は映画そのものの重要な一部でなければならないんです。ワンショットといえども、その世界全体を表現するべきものであるべきです。もっとも、そんな映画が作れたらいいなと僕も願っているんですが(例10に同じ)

(40) ちなみに、四番になぜ点取り屋の選手(つまり、最もよく打つ選手)が座るのかは不明だが、確率的に四番にチャンスがよく回ってくるかららしい。もっとも、そんな統計があるのかどうかはわからない。

aigawa2007.hatenablog.com/entry/20120128/1327768629

例(36)~(40)では、前件・後件とも書き手の個人的な考えなり思いなりが述べられている。そして後件には、前件で述べたことがらを、一步引いた視点から見た内容が加えられている。たとえば例(36)では、前件で「友人や先輩は……それなりに遊んでますから……。……男たるものスキャンダルの1つや2つ勲章ですから……。」と言っておきながら、後件では「もっともそんな乱暴な考え方はあくまでも私自身の自分勝手な私見であります……。」と一步引いた見方を述べている。前件は、一般化すべきものではないと修正を加えていると、とらえることもできよう。また例(37)では、「大きな人間に今年こそなりたいものだ」と言うおきながら、「締め切りを、もう少し前から見据えられる人間に、まずなりたい」と一步引いて、大きな目標から小さな目標へと軌道修正している。例(38)では、「純愛というものは存在するのか」と問いながら、「どういものが純愛なのかわかりづらい」と自らの問いに疑問を呈している。例(39)(40)も同じで、(39)では、映画は「~なければならない」「~あるべきだ」と大上段に言うおきながら、それは自分の「願い」であると一步引いた思いを述べ、(40)では、「確率的に四番にチャンスがよく回ってくるかららしい」と述べた後で、「では、そのような統計でもあるのか」というありうる予想に答える形で、「そんな統計があるかどうかはわからない」と前件の判断を留保している。

ここから「もっとも」とは、前件を一步引いて見つめ直し、前件に修正をほどこす内容を付け加えることを予告するものと言えるのではないだろうか。石黒（2008）は「もっとも」について「先行文脈に留保をつけて控えめな内容にする」ものと述べているが、同じことを述べていると思われる。

3.3.2 「ただし」の場合

以下の5例はすべて「見出し」的に用いられているものである。

(41) たった130円で関東一周の旅ができます（ただし、食事代は別）

www.lifehacker.jp/2012/11/1103_train.html

(42) 月面の奇跡... アメリカ国旗は健在、ただし全部真っ白です。（例6、34に同じ）

(43) 大学生の mixi 利用者 6 割強、ただし大部分は利用頻度減少。その理由は……（例7に同じ）

(44) 民主党・田中法相が暴力団との交際を認める。ただし辞任は否定。

jin115.com/archives/51904618.html -

(45) 阪神が巨人に快勝?! ただし練習試合

sankei.jp.msn.com/west/west_sports/.../wsp13022022570009-n1.htm

これらの例では、情報の伝え手がまず、最も伝えたいことを端的に述べ、次に前件では伝えきれなかった重要情報を、いわば予想される問いを先取りする形で「ただし」の後で付け加えていることがわかる。例(41)で聞き手が伝えたい重要な情報は「たった130円で関東一周の旅ができること」であるが、「食事代は含まれていないこと」、つまり食事代は130円の中に入らないことは、参加者が知らなければならない情報である。例(42)では、「アメリカの国旗」が何十年の後も健在であったことが最も伝えたいことであるが、「健在」という言葉から想像されるような状態ではなく、実は「色があせていた」ことは、誤解を生まないためにも付け加えるべき重要な情報である。例(43)(44)(45)でも同じことで、前件の見出しは人目を引きつけるのに十分ではあるが、しかしながら、前件だけが情報のすべてと受けとられると読み手に誤解を与える恐れがあるので、そうならないための重要情報が後件で付け加えられている。「ただし」はそのことを前触れの的に伝えているのである。3. 2. 3の場合と異なり、後件がなければ前件は成立しないわけではないが、後件は前件の成立にとって必要な情報である。

それでは「ただし」が見出しの中で使われている場合、本文では前件・後件にあたる部分がどのように表現されているのかを、次の3例を通して見てみよう。なお、下線部の①は前件に相当する部分を、②は後件に相当する部分を表す。

(46) PlayStaion Home の登録ユーザーは700万人。ただしリピーターは25～30%

ソニーの Peter Edward 氏は、Develop カンファレンスのスピーチで、① PlayStation Home の登録ユーザーが700万人に達したことを明らかにしました。PlayStaion Network 上にはおよそ

2000万のアカウントが存在すると言われており、ユーザーの利用率がかなり高いことが分かります。②しかし、PlayStation Homeを2回以上利用したリピートユーザーは、推計値で全体の25%～30%という数字に留まり、約7割の利用者は一回しかHomeにログインしていないこととなります。(下線部は筆者) (GamesIndustry.biz: Sony: Home repeat visitors total 25-30% of PSN users)gs.inside-games.jp/news/195/19507.html -

(47) 日本のブロードバンドは世界一安い、ただし全国の6分の1は未整備(前略)情報通信白書では、国内のブロードバンド加入者数は3月末で1495万に到達した上、①月額料金は海外各国より大幅に安いと説明。日本のブロードバンドは、「世界最高水準に達した」と評価した。(中略)一方、ブロードバンドの情報格差「デジタル・デバイド」の状況も明らかになった。②ブロードバンド未提供エリアは、3月末時点で全国の16.7%の町村。特に、過疎地域ではブロードバンド整備が遅れており、約4割がブロードバンドに加入できない状況だった。(下線部は筆者) itpro.nikkeibp.co.jp/free/NCC/NEWS/20040706/146871/-

(48) 小野恵令奈が芸能活動を再開!ただしAKB48への復帰は無し

昨年夏にAKB48を卒業しました小野恵令奈ですが、すでに広報されているように、この度レプロエンタテインメントに所属し、①芸能活動を再開することになりましたので、ご報告致します。②AKB48として活動することはございませんが、温かく見守って頂ければと思います。<http://ameblo.jp/akihabara48/entry-11063515616.html>

上の3例に見るように、見出し中に「ただし」が使われているからと言って、文中で必ずしも「ただし」が使われているわけではない。例(46)では「しかし」が用いられ、例(47)では「一方」が方向性を示しているとは言え、該当の文には接続詞さえない。例(48)についても同じである。

ここからも、「ただし」は、最も重要な情報に対して、読み手に誤った認識を与えないように、後件で必要な情報を付け加えることを予告する働きをするものであることが裏付けられる。

では、見出しとしてではなく、文章の中で使われている場合はどうだろうか。例をあげよう。

(49) (前略)20日、研究者たちが墳丘の裾部に入って調査を行う。卑弥呼の後継者とされる壺与(台与)の墓ともいわれる西殿塚古墳(同天理市)でも、同日に調査が行われる。ただし、ともに発掘などは許可されていない。(例35に同じ)

(49)ビタミンCは確かに風邪予防に効果的であることが、実験により証明された。ただし、併せてエクササイズをしなければ、意味がないという。(例20に同じ)

例(49)では、古墳の調査が行われるからには発掘も行われるのかという読み手の当然ともいえる予想に対して、誤った情報を与えないよう、発掘は許可されないことを伝えている。例(49)では、ビタミンCは風邪の予防に効果的であるが、ではそれで十分かというそうではなく、エクササイズの必要性があることが後件で述べられている。つまり、後件には、読み手に誤った

認識を与えないために必要な情報が付け加えられていることがわかる。

「もっとも」「ただし」のこれらの分析から、次のことが言えるのではないか。

「ただし」では、後件の情報は、前件の成立を左右する場合もあればそうでない場合もある。前件の成立を左右する場合は、後件に例外や制限、条件が述べられる場合であることは先に見た。しかし、前件の成立を左右しない場合であっても、後件情報がなければ前件情報が誤って受け取らとられる恐れがある。後件がなければ必要にして十分な情報を伝えたとは言えない。それに対して「もっとも」の場合は、後件は、前件を一步引いて見つめ直し、前件に留保を与えているもので、後件がないからといって、前件が誤情報として受け取られるということはない。

3.4 命令文と「もっとも」「ただし」との共起

先行研究には「もっとも」は、命令のような強い働きかけの表現とは共起しない（石黒2008）、「……相手への働きかけの文では一般的に、許可や命令の文、一方的な通告の文は（中略）「ただし」があらわれやすい」（川越1997）としているものがある。実例を見ても、「もっとも」が命令文と共起している例はなく、「ただし」では命令文と共起している例が2例あった。

(50) 毎日新聞「アルジェリア事件……日本政府は危機管理を見直せ。ただし9条があるから慎重にすべき」alfalfa.com/archives/6241152.html -

(51) 人と仲良くなりたければ褒めろ。ただしお世辞ではなく本心からな。物凄い効果があるぞ。(例18に同じ)

「もっとも」が命令文と共起しない理由は、私的な意見文だからということではないと思われる。それは、例(51)が意見文であることを見ればわかる。

命令文は、人に対して強く働きかける文である。「もっとも」の意味は、自分の述べたことに対して一步引いて見せること、留保することであった。また、「もっとも」は多く、個人的な情報を述べるときに使われている。このような「もっとも」の意味と用法は、命令文とは性格が合わない。これが命令文と「もっとも」が共起しない理由だと思われる。

3.5 まとめ

以上の分析をまとめると以下ようになる。

「もっとも」「ただし」はともに、まず最も言いたいことを述べ、次にそれに補足する情報を付け加える、という前触れの機能をもつ接続詞である。石黒（2008）が述べているように、後件に「補足的だが、理解に役立つ情報が続く」ことを示すものである。

両者の相違点は

1 「ただし」が公的（客観的）な事実文で用いられることが多いのに対し、「もっとも」は意見文でより多く用いられている。事実文で用いられる場合も私的な事実を述べるときに用いられている。

2 後件で、例外や制限、条件が述べられることを「もっとも」「ただし」の第1義的意味とする参考書が多い。しかし、後件で例外や制限、条件が述べられることは、「ただし」にはある程度言えても「もっとも」には該当しない。

3 「ただし」は、最も重要な情報に対して、読み手に誤った認識を与えないように、後件で必要な情報を付け加えることを予告する働きをするものである。このような性格を持つところから、特に見出しのように端的に素早く情報を示さなければならないときによく用いられる。

「ただし」の後に置かれる情報は、前件の成立を左右する場合もあればそうでない場合もある。前件の成立を左右する場合とは、後件に例外や制限、条件が述べられる場合である。しかし、前件の成立を左右しない場合であっても、後件情報がなければ前件情報が誤って受け取らとられる恐れがあり、後件がなければ必要にして十分な情報を伝えたとは言えない。

4 「もっとも」は、前件を一步引いて見つめ直し、前件に修正をほどこす内容を付け加えることを予告するものである。前件で言いたいことは言ったが、言い過ぎたかもしれない、他の見方もあるかもしれない、誤解される恐れがあるかもしれない、といった釈明の必要がある内容に対して、前件で述べたことは、あくまでも理想で、現実は違うことを、自分を一步引いてみせるというわけである。

「もっとも」では、後件がなくても前件情報が誤情報になるわけではない。前件が意見の場合は、真や偽などには関係がないからである。

4. 終わりに

以上、補足の接続詞「もっとも」と「ただし」について、日本語学習者にわかりやすい記述を目指して分析を進めてきた。

日本語学習者は、情報の受信者であるだけでなく、情報の発信者でもある。そのような学習者には、以下のように説明することができるのではないだろうか。

1 ある情報にある情報が付け加えられるとき、それが客観的な事実文だったら「ただし」、意見文の場合もしくは事実文でも個人的な文章の場合は「もっとも」が用いられる。したがって、ある情報にある情報を付け加えようとするとき、それが客観的な事実文だったら「ただし」を、意見文の場合もしくは事実文でも個人的な文章の場合は「もっとも」を用いるとよ

い。

2 「ただし」は、まず最も重要な情報を簡潔に示し、そこで言い切れなかった重要情報を付け加えるときに用いられる。前に述べたことがらに対して例外や制限、条件を付け加えたいときには「ただし」が用いられ、後で述べることがらが必須情報であることが示される。したがって、まず最も必要な情報を簡潔に示し、そこで言い切れなかった重要情報を付け加えたいときには「ただし」を用いるとよい。また、前に述べたことがらに対して例外や制限、条件を付け加えたいときに「ただし」を用いると、それが必須情報であることを示すことができる。

3 「もっとも」は、前に述べたことがらを別の視点から見直し、自己修正するときに用いられる。したがって、前に述べたことがらを別の視点から見直し、自己修正したいときには「もっとも」を用いるとよい。

引用文献

石黒圭 (2008) 『文章は接続詞で決まる』 光文社

川越菜穂子 (2006) 「補足の接続詞とコミュニケーションストラテジー」『日本語文法の新地平3』くろしお出版

森田良行 (1980) 『基礎日本語2』 角川書店

飛田良文・浅田秀子 (1994) 『現代副詞用法辞典』 東京堂出版

名柄迪監修 (1990) 『外国人のための日本語例文・問題シリーズ 接続の表現』 荒竹出版

グループ・ジャマシイ (1998) 『日本語文型辞典』 くろしお出版

インターネット上で検索したデータの出所は文中で示した通りである。